

舟こぎ競争実施要綱

【総括・競技方法】

(基本的事項)

1. 競艇の距離は、一般の部、女子・子ども会の部ともに予選から決勝まで全て340mとする。
2. 標識ブイの間隔は20mとする。
3. 選手の交代は何名でも良い。
4. 所定の時間内に集合しないチームは、棄権とみなす。
5. 選手は、笛手を含めて8名とし、笛手は小学生以上（性別は問わない）とする。
6. 舟艇とヤホ・ライフジャケットは所定のものを使用し、その他の使用は認めない。
7. 安全対策や熱中症対策については、各チームで十分に注意すること。

(競技運営・実施時)

8. 開会式は午前7時35分からとし、開会式終了後午前8時00分から競技を開始する。
9. 予備のヤホは、各舟艇とも3本以内とする。
10. 選手の座席は、各チームの自由とする。
11. 女子・子ども会の部の舵は男性でも構わない。
12. 各チームの出発準備が整ったら各コースの係員が白旗を上げる。全チームの白旗が揃ったら笛が鳴り、ピストル合図で出発となる（笛が鳴った後の赤旗への変更はできない）。
13. 出発は、係員が船尾をつかみ出発合図と同時に手を放し一斉にスタートする。
14. 各チームは、各自の目標(ブイ)を右から入り左旋回する。
15. 規定のコース外で他の舟艇と衝突したチームは、失格とする。隣接のコースとのスタート階段及び目標ブイの中間が境界になる。
16. 旋回中に衝突若しくは追突又はそれを避けるため、ブイを右周り又は2個のブイを旋回した場合はやむをえないものとする。
17. ゴール後、舟を転覆させたり、ぶつけたりしないこと。(ヤホの投げ捨てはしない)
ゴール後に舟を停止させる意思がなく、岸壁にはげしく接触させたチームは失格とする。
18. 舟には、ライフジャケットを着用して素足で乗り込む。
下記に記載のない物品の持ち込みは認めない。
 - ・怪我防止のためのサポーター、テーピング、手袋、日焼け予防の帽子
 - ・タオル（タオル等を尻や肘、腰、足などに付け滑り止めとして利用するのは認めない）
 - ・広報用のためのカメラ、マイク等（持ち込む際は各自の責任において管理すること。破損・紛失等について主催者は一切責任を負わない）
19. 出発係の旗が全5コースとも白旗（準備完了）に変わった時点から、ヤホを水につけてはならない。

(その他)

20. 競技についての異議申し立てを行えるのは、チームの監督に限る。
21. その他、競技上の判定については、審判長の判定に従う。

【組み合わせ方法】

(一般の部)

1. 予選の組み合わせは、代表者会当日に抽選で決める。
2. 令和7年度決勝進出チームを予選の組み合わせでシードとする。
3. 準決勝に出場するチームは、「予選各組1位のチーム」と「2位以下で予選のタイム上位5チーム」とし抽選で組み合わせを決める。
4. 決勝に出場するチームは、「準決勝各組1位のチーム」とし、抽選で組み合わせを決める。

(女子・子ども会の部)

1. 予選の組み合わせは、代表者会当日に抽選で決める。
2. 令和7年度決勝進出チームを予選の組み合わせでシードとする。
3. 準決勝に出場するチームは、「予選各組1位と2位のチーム」と「3位以下で予選のタイム上位4チーム」とし、抽選で組み合わせを決める。
4. 決勝に出場するチームは、「準決勝各組1位のチーム」と「2位以下で準決勝のタイム上位1チーム」し、抽選で組み合わせを決める。